

「おおたの未来づくり」

ローリングストック活用レシピ

提案発表会

「自宅」の備蓄を見て



・非常食が少ない。・期限が切れているものが多い。

「自宅」の備蓄を見て

- ・「買い足す」や「消費」を意識していない。
- ・「**備蓄**」を意識していない人が多い。

⇒ 避難所の備蓄について調べよう！

災害が起きたときに困ってしまう…。



「羽田小学校（避難所）」の備蓄

- ・羽田小学校の備蓄は2000人が、1日過ごせる量
- ・羽田小学校を避難所として使用する最大人数は約8000人

⇒備蓄の量が少ないため各家庭で備蓄が必須

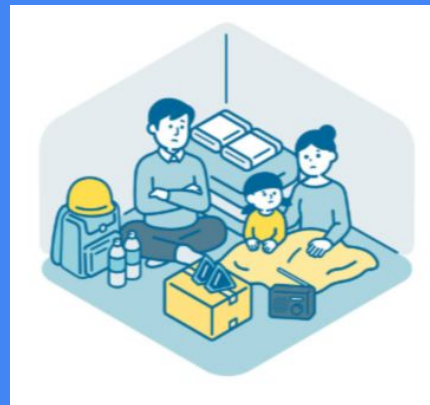


「羽田小学校（避難所）」の備蓄

・学校防災活動拠点の方の願い

「ローリングストックを地域に広めてほしい」

⇒羽田空港の備蓄について調べよう！



「羽田空港」の備蓄

- ・国内線、国際線ごとに想定人数に合わせた備蓄

⇒11000人が3日間過ごせる



「羽田空港」の備蓄

- ・備蓄されている食品が豊富

⇒栄養価

⇒アレルギーや宗教食対応あり



「羽田空港」の備蓄

「ローリングストック」

- ・古いものから交換
- ・古いものは寄贈する



ローリングストックの必要性

災害発生 ⇒ ライフライン、物流の停止

「水道、ガス、電気」が使えない！！

日常食が食べられない



ローリングストックがあれば

「水道、ガス、電気」が使えなくても**安心して食べられる。**



ローリングストックとは

「買い置き」



「買い足す」

「消費する」

ローリングストックの大切さ

「物流、ライフラインの復旧までの備え」が大事

最低3日分～1週間 × 家族の人数分



ローリングストックを広めるために

- ・備蓄するだけで、「消費⇒買い足し」をする家庭



少ない

- ・「消費すること」に目を向けた



「ローリングストック活用レシピ」を考案

「ローリングストック活用レシピ」とは

自宅にある食材をアレンジして
誰もが美味しく食べることができるレシピ

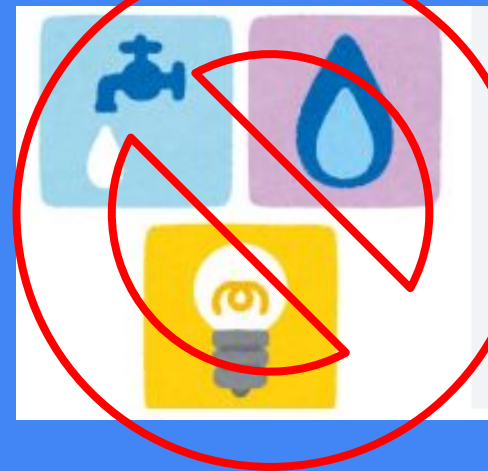


非常時、日常時に関係なく

レシピ考案における「想定した状況」

①災害が起き、ライフラインが止まる。

⇒電気、ガス、水道が使えない。



②避難所を利用することができない。

⇒在宅避難をしている。

レシピ考案における「条件」

- ①電気、ガス、水道は使用不可。**カセットコンロ**は使用可。
- ②自宅にある**調理器具、調味料**は使用可。
- ③調理における水の使用は**2リットル**まで。
- ④調理時間は、**1時間以内**。
- ⑤**栄養素**に目を向ける。
- ⑥**誰でも**実践できる。

レシピ考案における「ターゲット」

子供・大人・高齢の方の3世代

⇒それぞれに合ったコンセプトを考え、レシピを考案。

提案発表会までの学習の流れ

①レシピのコンセプトを設定し、1回目の調理



②調理を終えて、問題点や改良点を考える



③授業パートナーからコンセプトに近づくアドバイスを頂く



④アドバイスを基にレシピを練り直す



⑤練り直したレシピで2回目の調理



⑥ローリングストック活用レシピ提案発表会



今後の流れ

○10班が5つのブースで2班ずつに分かれて、レシピを発表



○各グループの発表後に、それぞれ質疑応答の時間がある



○移動の時間に、他のブースへ移動をする



○2回目の発表、質疑応答をする



○全体で集合して、振り返りをする